

第3次古賀市ごみ処理基本計画策定のための
市民アンケート調査

調査結果

令和5年3月

目 次

1. 市民アンケート調査の調査方法	1
2. 市民アンケート調査結果	2
2-1 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 住んでいる小学校区	2
(4) 世帯人員	3
(5) 古賀市での居住年数	3
(6) 居住形態	3
(7) 職業	4
2-2 ごみの回収や分別についての満足度	5
2-3 ごみ出しの頻度や量	6
(1) 可燃ごみを出す頻度	6
(2) 可燃ごみの量（1回に出す量・1週間に出す量）	7
(3) 使用するごみ袋の種類	8
(4) ごみの分別の取組状況	8
(5) 自分の家庭から出るごみの量	9
(6) 今後のごみ量の削減	9
2-4 分別ごみ（可燃ごみ以外の資源ごみ）について	10
2-5 プラスチック製品の分別について	11
(1) プラスチック製品を新たに分別すべきか	11
(2) 新たなプラスチック製品の分別収集への取組意向	11
2-6 「ごみの削減」や「リサイクル」の取組について	12
(1) 「ごみの削減」や「リサイクル」のために取り組んでいること	12
(2) 「ごみの削減」や「リサイクル」のための取組について今後の実施意向	12
(3) 家庭から出される不用品を対象にパソコンや携帯電話アプリなどから取引できるフリーマーケットを運営する	13
(4) コンビニなどの協力店に資源回収ボックスを設置する	13
2-7 ごみの問題への関心とごみに関する情報について	14
(1) ごみに関する問題への関心	14
(2) ごみ・環境問題についての情報・知識の情報源	15
(3) 市が提供するごみ・環境問題に関する情報について期待する内容	16
2-8 自由意見	17

1. 市民アンケート調査の調査方法

家庭系ごみや事業系ごみの減量の可能性を検討するためアンケートを実施した。

なお、市民、事業者ともに対象者の抽出、宛名ラベルの作成は委託者が行い、調査票の作成、調査票の送受信に関する作業、データ入力、集計、分析は受託者が行った。

なお、市民アンケートについては、ごみの減量と資源化率を上げるための分別品目の検討、新たな施策導入効果検証のための基礎資料を得ることを目的に実施した。

表 1 市民アンケート調査の実施状況

区分	実施状況
対象	18歳以上の市内在住者 1,000 人
対象者の抽出方法	無作為抽出（発注者が実施）
配付・回収方法	郵送法（回答は郵送またはウェブで受付）
調査期間	送付日：令和4年8月31日 回収〆切日：令和4年9月20日
回収数・回収率	423 サンプル（42.3%） 郵送 323 サンプル、web100 サンプル
有効回収数・有効回収率	422 サンプル（12.2%）

表 2 市民アンケート調査の設問項目

区分	設問
回答者の属性	性別・年齢・住んでいる小学校区・世帯人員数・居住年数・住居形態・職業
ごみの回収や分別についての満足度	ごみの回収や分別について、どのように感じていますか。
ゴミ出しの頻度や量について	可燃ごみを出す頻度はどの程度ですか。 -
	可燃ごみの量（1回に出す量）はどのくらいですか。
	ごみの分別はどのように取り組んでいますか。
	あなたはご自分の家庭から出るごみの量をどのようにお感じですか。
今後、ごみの量を削減できると思いますか。	
分別ごみについて	分別ごみ（可燃ごみ以外の資源ごみ）をどこに出していますか。
プラスチック製品の分別について	現在、可燃ごみとしているプラスチック製品（プラスチック製容器包装以外）について資源を有効利用するため、今後新たに分別すべきだと思いませんか。
	仮に、プラスチック製品（プラスチック製容器包装以外）を分別収集することになった場合、どの程度分別しますか。
「ごみの削減」や「リサイクル」の取組について	「ごみの削減」「リサイクル」のために、どのようなことをしていますか。
	古賀市で取組を導入した場合の利用の意向をお聞かせください。
ごみの問題への関心とごみに関する情報について	ごみに関する問題について関心はありますか。
	ごみ・環境問題についての情報・知識の情報源は何ですか。
	市が提供するごみ・環境問題に関する情報について、どのような内容を期待しますか。
自由意見	市の環境（環境行政も含む）に関してご意見等がありましたらご記入下さい。

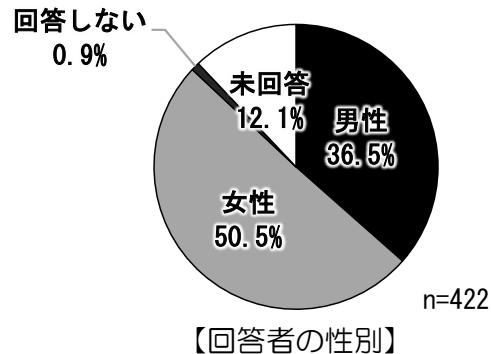
2. 市民アンケート調査結果

2-1 回答者の属性

ご自身についてお尋ねします。あてはまるものに○を付けてください。 (それぞれ○はひとつ)

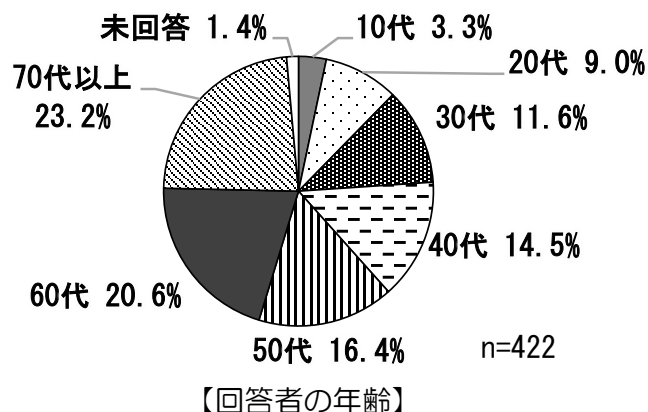
(1) 性別

性別の割合は、「女性 (50.5%)」、「男性 (36.5%)」であり、女性からの回答が多い。



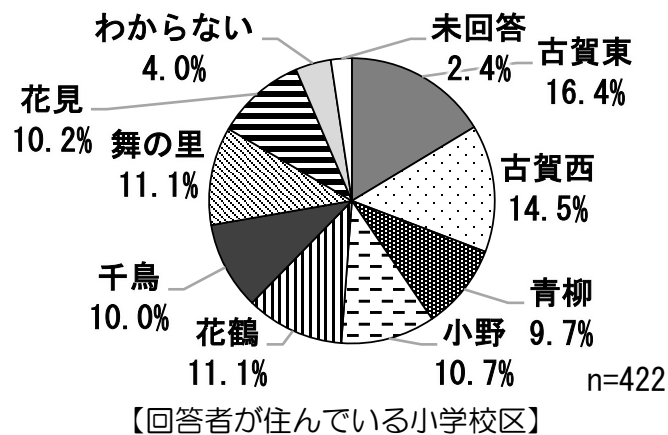
(2) 年齢

年齢は、「70代以上 (23.2%)」と「60代 (20.6%)」の割合が他の世代と比べて高くなっている。



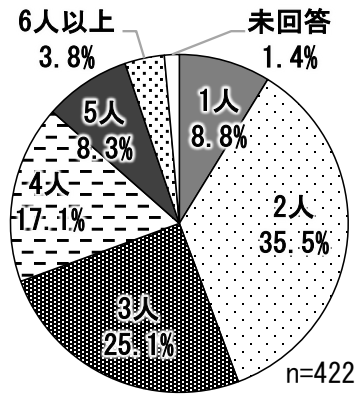
(3) 住んでいる小学校区

小学校区は、「古賀東 (16.4%)」、次いで「古賀西 (14.5%)」の順になっている。



(4) 世帯人員

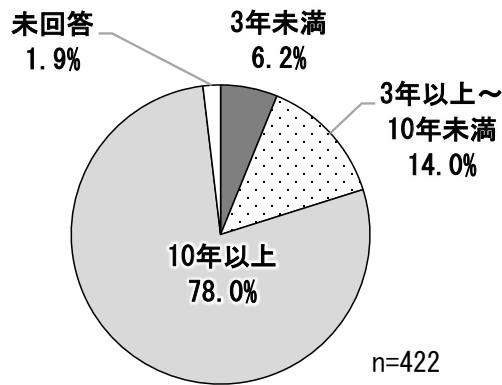
世帯人員は、「2人 (35.5%)」、次いで「3人 (25.1%)」、「4人 (17.1%)」の順になっている。



【回答者の世帯人員】

(5) 古賀市での居住年数

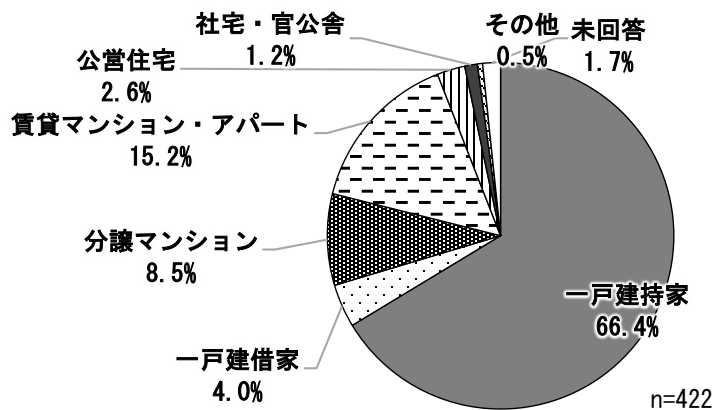
居住年数は、「10年以上 (78.0%)」が最も多く、10年以上古賀市に住んでいる方が約8割を占める。



【回答者の居住年数】

(6) 居住形態

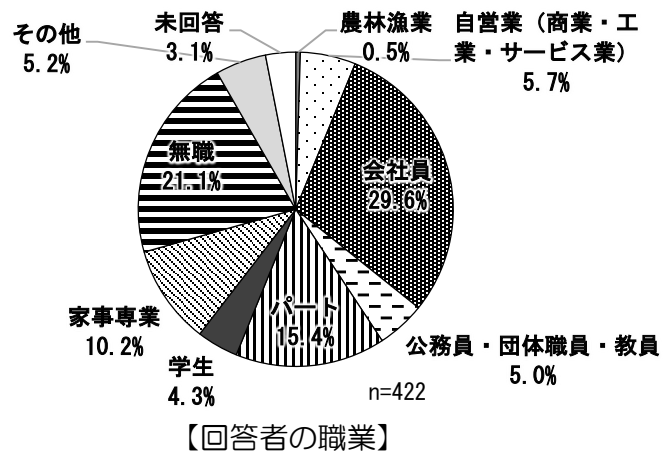
住居形態は、「一戸建持家 (66.4%)」の割合が高くなっている。



【回答者の居住形態】

(7) 職業

職業は、「会社員 (29.6%)」、次いで「無職 (21.1%)」、「パート (15.4%)」の順になっている。



2-2 ごみの回収や分別についての満足度

問 1. ごみの回収や分別について、どのように感じていますか。

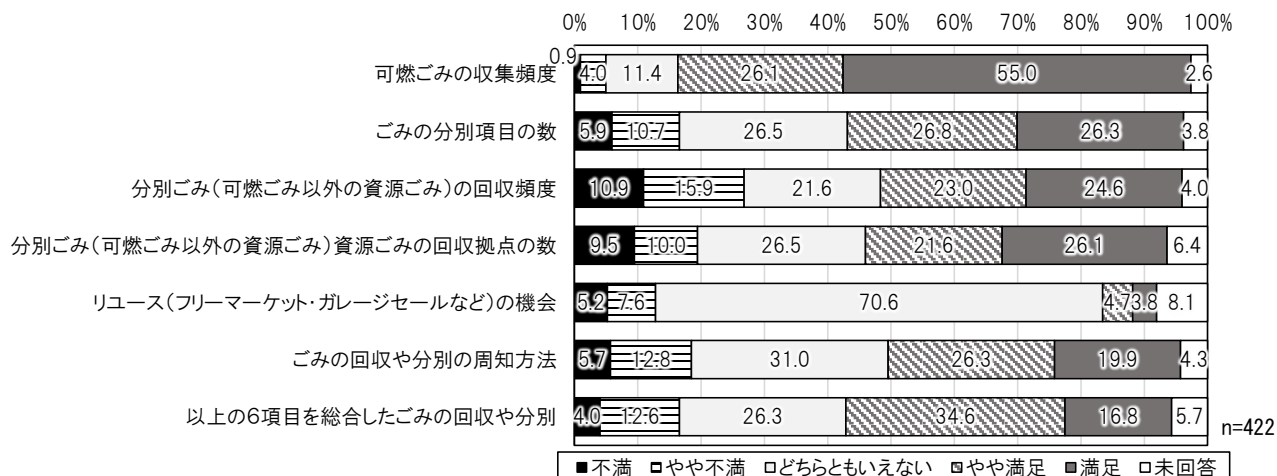
項目ごとにあてはまる満足度に1つだけ○をつけてください。

(それぞれ○は1つ)

「不満」「やや不満」と回答した割合が高かったのは「分別ごみの回収頻度 (26.8%)」、「分別ごみ資源ごみの回収拠点の数 (19.4%)」であった。

「満足」「やや満足」と回答した割合が50%を超えているのは「可燃ごみの収集頻度 (81.0%)」、「ごみの分別項目の数 (53.1%)」であり、「6項目を総合したごみの回収や分別」についても、「満足」「やや満足」と回答した割合が51.4%と半数を超えている。

「リユース (フリーマーケット・ガレージセールなど) の機会」は「満足」「やや満足」と回答した割合は8.5%と他の項目より非常に低く、「どちらともいえない (70.6%)」「未回答 (8.1%)」の割合が高い。



【ごみの回収や分別についての満足度】

2-3 ごみ出しの頻度や量

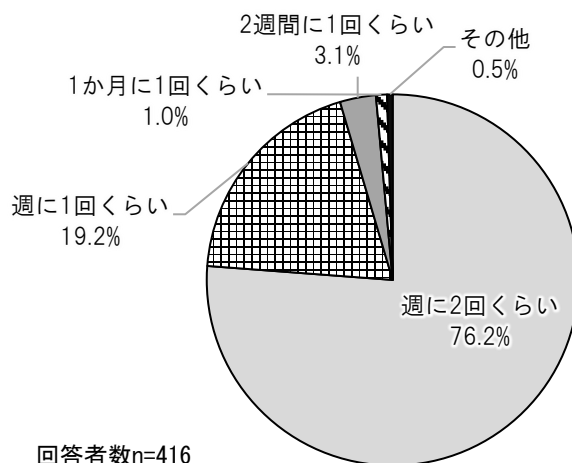
問 2. 可燃ごみを出す頻度はどの程度ですか。

(○は1つ)

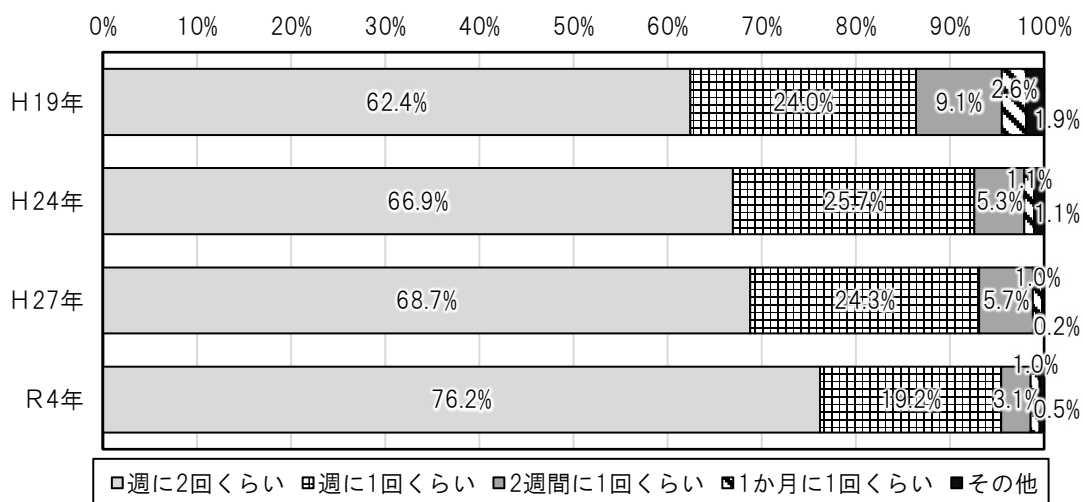
(1) 可燃ごみを出す頻度

可燃ごみを出す頻度は「週に2回くらい(76.2%)」が最も多く、次いで「週に1回くらい(19.2%)」であった。

過去の調査結果と比較すると「週に2回くらい」の割合が増加傾向にあり、ごみ出しの頻度は増加傾向にある。



【可燃ごみを出す頻度】



【可燃ごみを出す頻度の推移 (H19年・H24年・H27年・R4年)】

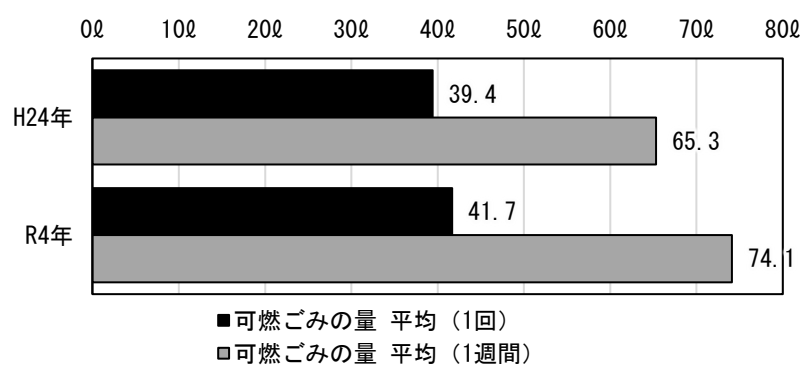
問3. 可燃ごみの量(1回に出す量)はどのくらいですか。

(2) 可燃ごみの量(1回に出す量・1週間に出す量)

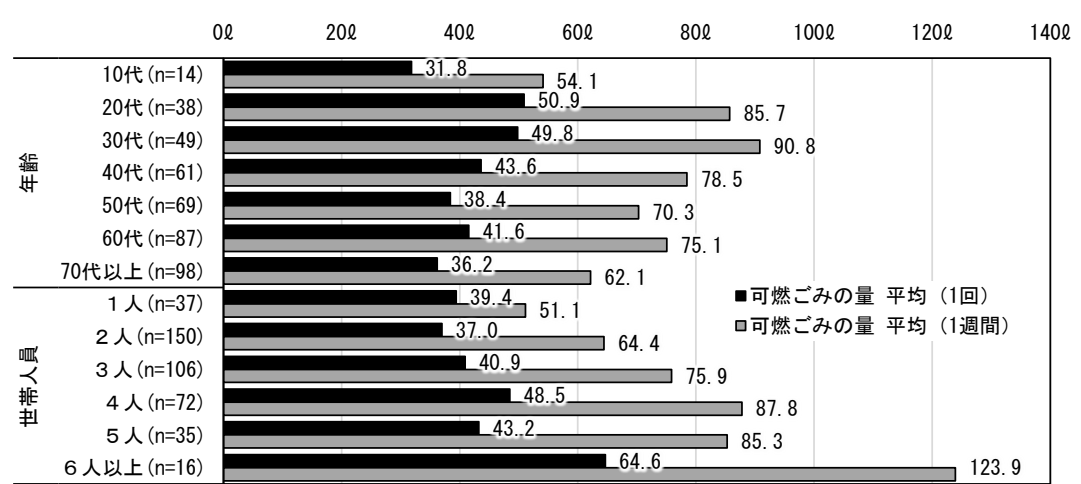
ごみ袋の容量から算出した、1回に出す可燃ごみの量の平均は41.7ℓとなった。これに、問2の可燃ごみを出す頻度を用い算出した、1週間に出す可燃ごみの量の平均は74.1ℓとなった。

平成24年調査についても同様に算出すると、1回に出す可燃ごみの量の平均は39.4ℓ、1週間に出す可燃ごみの量の平均は65.3ℓとなった。平成24年度と比較して、ごみの量はやや増加傾向にある。

年齢別に見ると、可燃ごみの量が多かったのは20代、30代であった。世帯人員別に見ると、家族の人数が多い方がごみの量も多い傾向にあった。



【可燃ごみの量の推移 (H24年・R4年)】



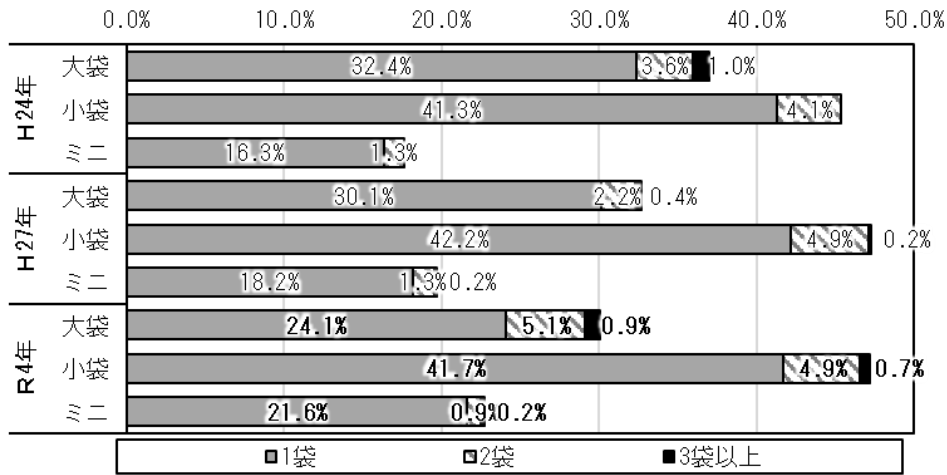
【可燃ごみの量 (年齢別・世帯人員別)】

1回に出す可燃ごみの量の計算方法
 1回に出すごみ袋の数とごみ袋ごとの容量(大袋:×45ℓ、小袋:×30ℓ、ミニ袋:×20ℓ)を乗算し、1回に出す可燃ごみの量を計算した。

1週間に出す可燃ごみの量の計算方法
 1回に出す可燃ごみの量に可燃ごみを出す頻度(週に2回くらい:×2回/週、週に1回くらい:×1回/週、2週間に1回くらい:×0.5回/週、1か月に1回くらい:0.25回/週)を乗算し、1週間に出す可燃ごみの量を計算した。

(3) 使用するごみ袋の種類

大袋を使用する割合は減少傾向にあり、ミニ袋を使用する割合は増加傾向にある。



【使用するごみ袋の種類の推移（H24年・H27・R4年）】

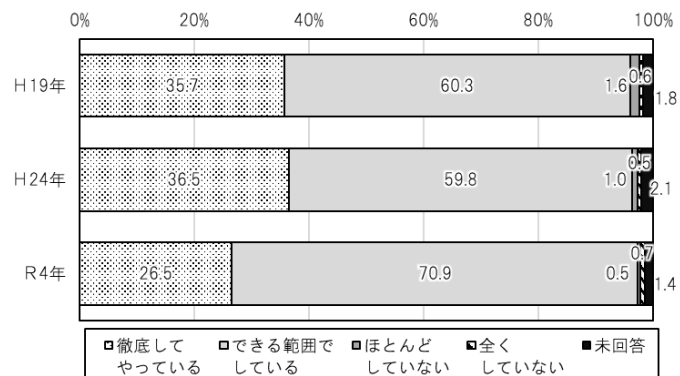
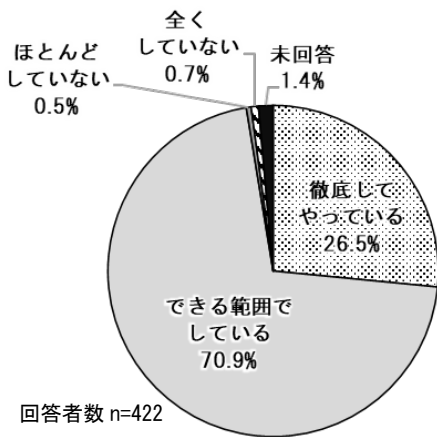
問 4. ごみの分別はどのように取り組んでいますか。

(○は1つ)

(4) ごみの分別の取組状況

ごみの分別について「徹底してやっている (26.5%)」、「できる範囲でやっている (70.9%)」を合計すると 97.4%を占めている。

平成 19 年、平成 24 年と比較すると、令和 4 年はごみの分別を「徹底してやっている」と答えた割合がやや減少した。



【ごみ分別の取組状況】

【ごみ分別の取組状況の推移（H19年・24年・R4年）】

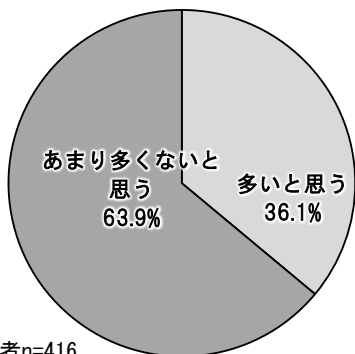
問 5. あなたはご自分の家庭から出るごみの量をどのようにお感じですか。

(○は1つ)

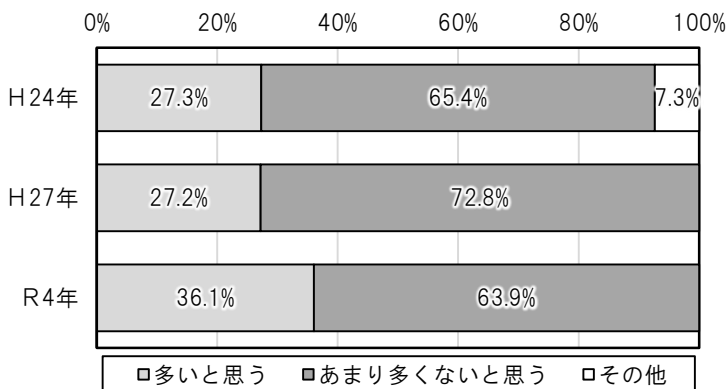
(5) 自分の家庭から出るごみの量

自分の家庭からでるごみの量について「あまり多くないと思う (63.9%)」の方が「多いと思う (36.1%)」より多かった。

平成 24 年、平成 27 年調査と比較して、「多いと思う」と回答した割合はやや増加している。



回答者n=416
未回答者を含まない



【自分の家庭から出るごみの量】【自分の家庭から出るごみの量の推移 (H19年・24年・R4年)】

※平成 24 年調査では「①現在のごみ排出量が多いと思うので、今後は削減できる」「②現在のごみ排出量が多いと思うが、削減は難しい」「③現在のごみ排出量はあまり多くないが、さらに削減できる」「④現在のごみ排出量はあまり多くないので、削減は難しい」「⑤ごみ排出量をあまり意識したことはない」「⑥わからない」の 6 項目で、「多いと思う」は①②、「あまり多くないと思う」は③④の合計値としている。

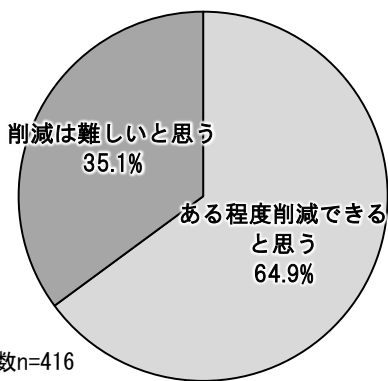
問 6. 今後、ごみの量を削減できるとお思いますか。

(○は1つ)

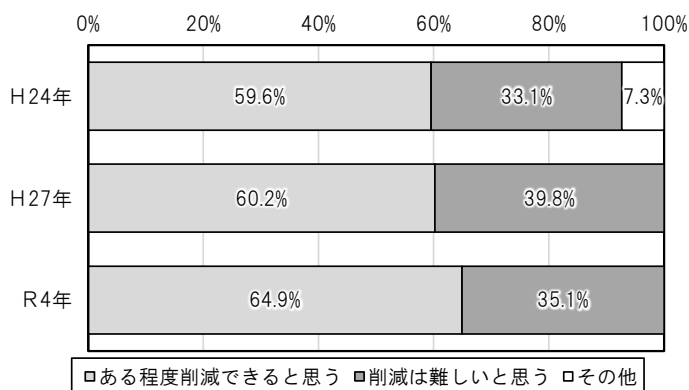
(6) 今後のごみ量の削減

今後のごみ量の削減について、「ある程度削減できると思う (64.9%)」の方が「削減は難しいと思う (35.1%)」より多かった。

平成 24 年、平成 27 年調査と比較して、「ある程度削減できると思う」と回答した割合はやや増加している。



回答者数n=416
未回答者を含まない



【今後のごみ量の削減】 【今後のごみ量の削減の推移 (H19年・24年・R4年)】

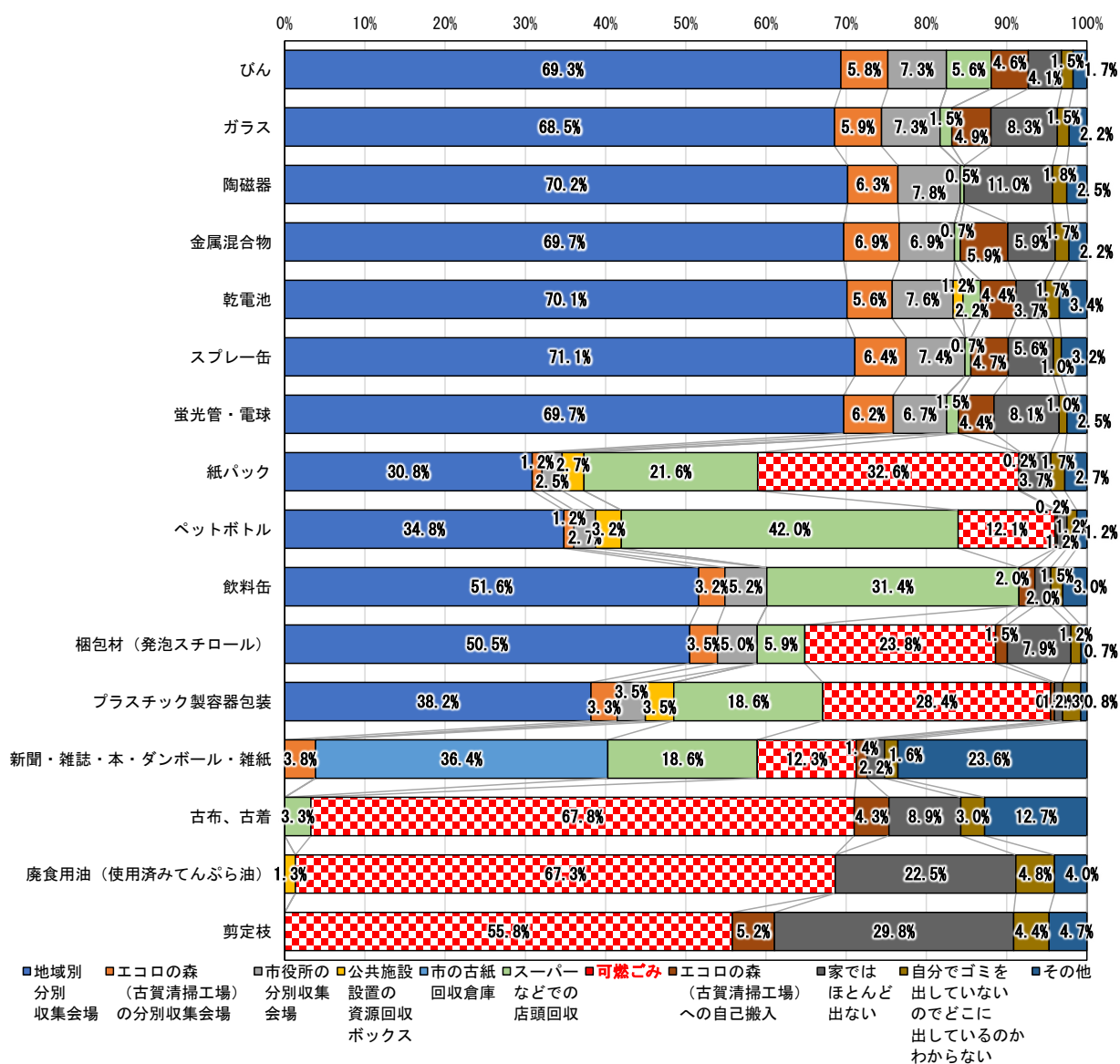
※平成 24 年調査では「①現在のごみ排出量が多いと思うので、今後は削減できる」「②現在のごみ排出量が多いと思うが、削減は難しい」「③現在のごみ排出量はあまり多くないが、さらに削減できる」「④現在のごみ排出量はあまり多くないので、削減は難しい」「⑤ごみ排出量をあまり意識したことはない」「⑥わからない」の 6 項目で、「ある程度削減できると思う」は①③、「削減は難しいと思う」は②④の合計値としている。

2-4 分別ごみ（可燃ごみ以外の資源ごみ）について

問 7. 分別ごみ(可燃ごみ以外の資源ごみ)をどこに出していますか。利用頻度が高く持ち込み量が多い施設に1つだけ○を付けてください。(それぞれ○は1つ)

市やエコロの森（古賀清掃工場）、公共施設などの分別収集会場に持ち込まれている割合が高いのは「スプレー缶（84.8%）」、「乾電池（84.6%）」、「陶磁器（84.2%）」、「金属混合物（83.5%）」、「蛍光管・電球（82.5%）」、「びん（82.5%）」、「ガラス（81.7%）」などであり、回収率が8割を超えている。

可燃ごみとして廃棄され、再生利用されてない割合が高い分別ごみは「古布、古着（可燃ごみの割合 67.8%）」、「廃食用油（可燃ごみの割合 67.3%）」、「剪定枝（可燃ごみの割合 55.8%）」、「紙パック（可燃ごみの割合 32.6%）」、「プラスチック製容器包装（可燃ごみの割合 28.4%）」などがあげられる。



【分別ごみを持ち込む施設】

雑誌・雑誌・本・ダンボール・雑紙（その他）の持ち込み先

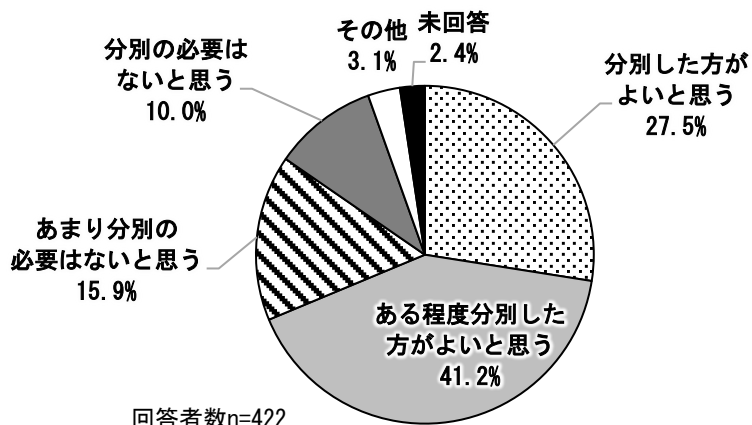
・回収業者 25 件、子供会・育成会 17 件、新聞販売店 11 件、マンションの回収場 5 件 等

2-5 プラスチック製品の分別について

問 8. 現在、可燃ごみとしているプラスチック製品(プラスチック製容器包装以外)について資源を有効利用するため、今後新たに分別すべきだと思いますか。(〇は1つ)

(1) プラスチック製品を新たに分別すべきか

「ある程度分別したほうがよい(41.2%)」、「分別したほうがよい(27.5%)」と答えた割合の合計は68.7%を占めており、資源の有効利用のために今後新たにプラスチック製品(プラスチック製容器包装以外)を分別することに前向きな回答者が多い。

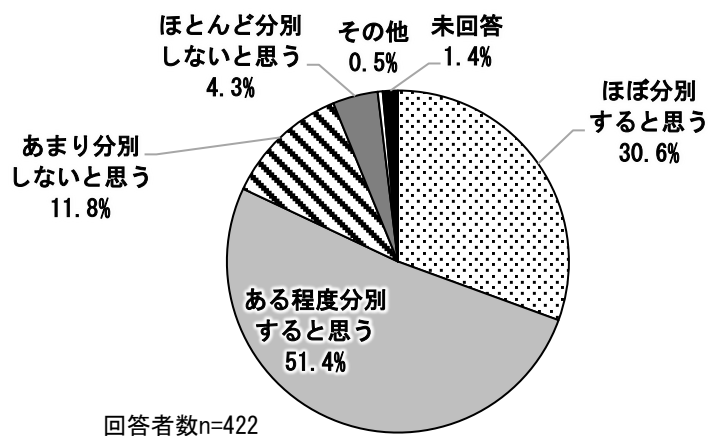


【プラスチック製品を新たに分別すべきか】

問 9. 仮に、プラスチック製品(プラスチック製容器包装以外)を分別収集することになった場合、どの程度分別しますか。(〇は1つ)

(2) 新たなプラスチック製品の分別収集への取組意向

「ある程度分別すると思う(51.4%)」、「ほぼ分別すると思う(30.6%)」と答えた割合の合計は82.0%を占めており、新たなプラスチック製品(プラスチック製容器包装以外)の分別収集に協力的な回答者が多い。



【新たなプラスチック製品の分別収集への取組意向】

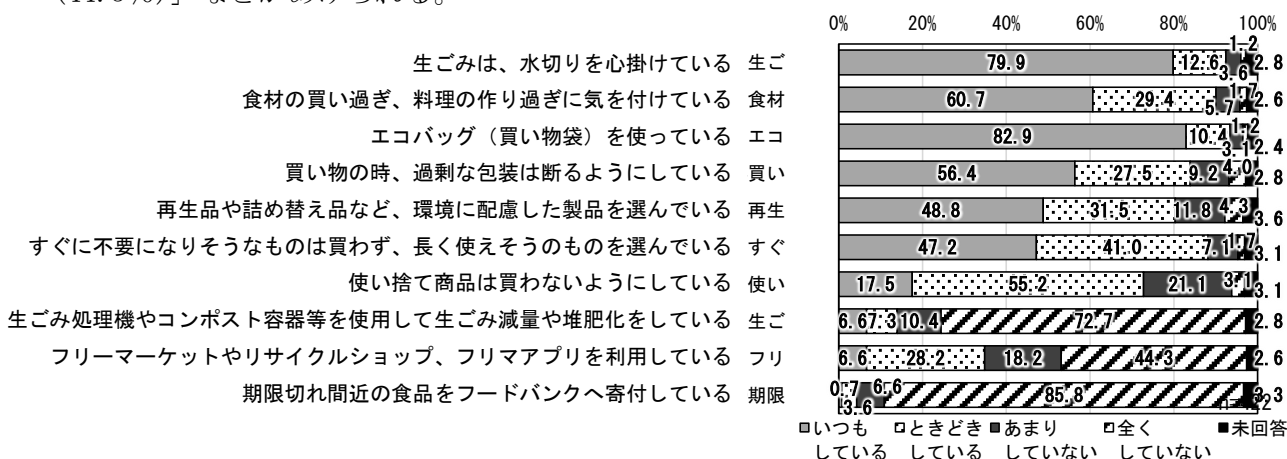
2-6 「ごみの削減」や「リサイクル」の取組について

問 10. 「ごみの削減」「リサイクル」のために、どのようなことをしていますか。 (それぞれ○は1つ)

(1) 「ごみの削減」や「リサイクル」のために取り組んでいること

“いつもしている”と答えた割合が高い取組は「エコバッグ(買い物袋)を使っている(82.9%)」、「生ごみは、水切りを心掛けている(79.9%)」などで、約8割の回答者がいつもしていると回答している。

反対に“全くしていない”と答えた割合が高い取組は「期限切れ間近の食品をフードバンクへ寄付している(85.8%)」、「生ごみ処理機やコンポスト容器等を使用して、生ごみ減量や堆肥化をしている(72.7%)」、「フリーマーケットやリサイクルショップ、フリマアプリを利用している(44.3%)」などがあげられる。

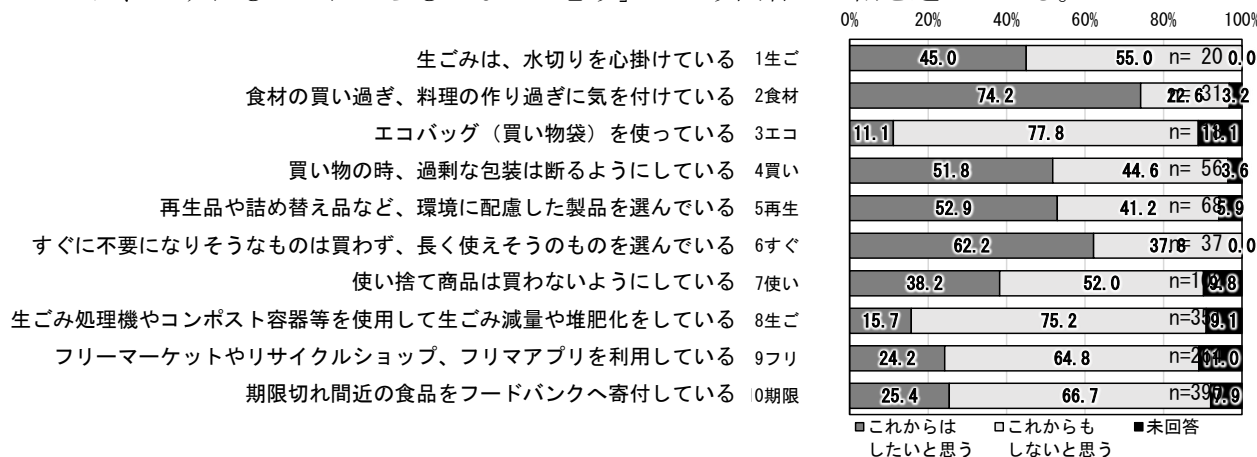


【「ごみの削減」や「リサイクル」のために取り組んでいること】

問 10. “全くしていない”“あまりしていない”と回答された方は、今後の実施意向についてもお答えください。 (それぞれ○は1つ)

(2) 「ごみの削減」や「リサイクル」のための取組について今後の実施意向

“全くしていない”“あまりしていない”と答えた割合が最も高かった「期限切れ間近の食品をフードバンクへ寄付している」、「生ごみ処理機やコンポスト容器等を使用して、生ごみ減量や堆肥化をしている」、「フリーマーケットやリサイクルショップ、フリマアプリを利用している」については、いずれも「これからはしないと思う」という回答が6割を超えている。

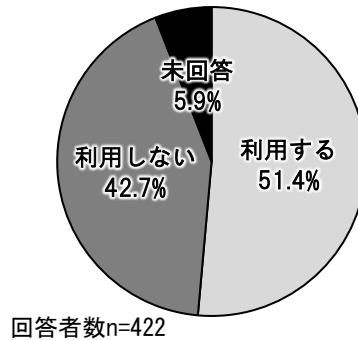


【「ごみの削減」や「リサイクル」のための取組について今後の実施意向】

問 11. 古賀市で取組を導入した場合の利用の意向をお聞かせください。 (それぞれ○は1つ)

(3) 家庭から出される不用品を対象にパソコンや携帯電話アプリなどから取引できるフリーマーケットを運営する

「利用する (51.4%)」の方が「利用しない (42.7%)」より多かった。



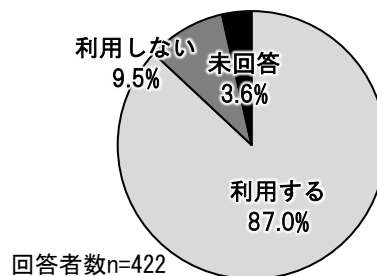
【パソコンや携帯電話アプリなどから不用品取引できるフリーマーケットの利用意向】

利用しない主な理由

- ・パソコンや携帯アプリが苦手、使わない、持っていない (40 件)
- ・面倒だから (22 件)
- ・やり方がよくわからない (15 件)
- ・できない、難しそう (8 件)
- ・不用品があまり出ない (8 件)
- ・リサイクル品に抵抗がある (8 件)
- ・他のアプリがある (6 件)
- ・トラブルが心配 (5 件)
- ・個人情報の流出が心配 (3 件)
- ・フリーマーケットを利用しない、抵抗がある (5 件)

(4) コンビニなどの協力店に資源回収ボックスを設置する

「利用する (87.0%)」との回答が約 9 割を占めた。



【コンビニなどの協力店に設置する源回収ボックスの利用意向】

利用しない主な理由

- ・コンビニをあまり利用しない (10 件)
- ・既存の分別でよい (9 件)
- ・面倒 (8 件)
- ・必要ない (2 件)

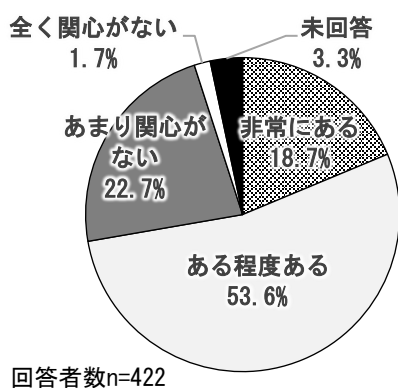
2-7 ごみの問題への関心とごみに関する情報について

問 12. ごみに関する問題について関心はありますか。 (○は1つ)

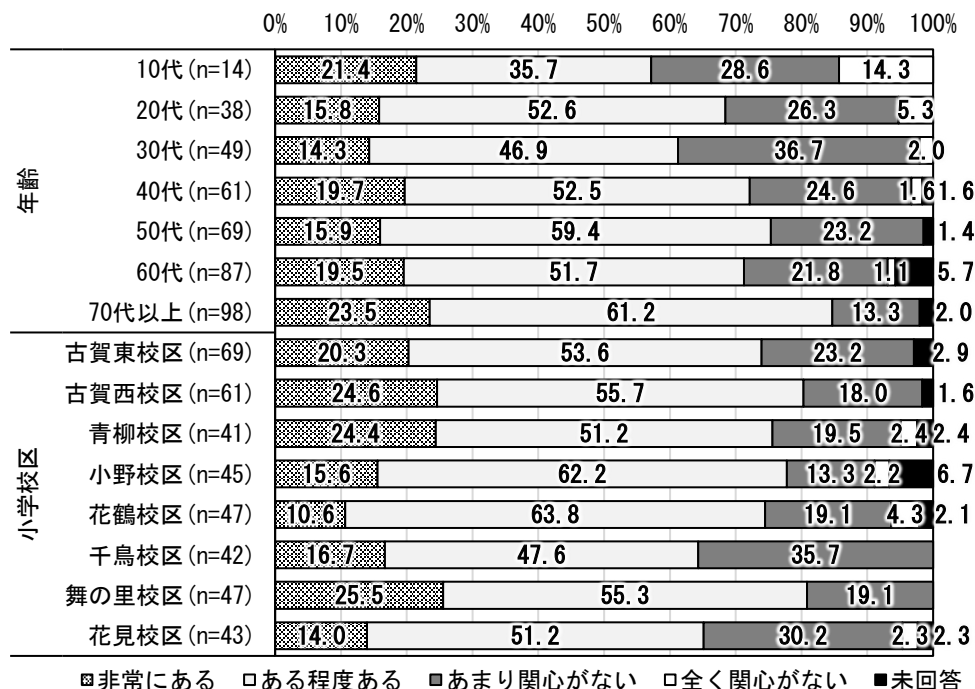
(1) ごみに関する問題への関心

ごみに関する問題について、関心が「非常にある (18.7%)」「ある程度ある (53.6%)」と回答した割合を合計すると 72.3%を占め、ごみに関する問題に関心がある人の割合は高い。

年齢別にみると、最も関心が高いのは「70代以上」で、「10代」から「30代」などの若い世代では「全く関心がない」「あまり関心がない」と回答した割合が高い。



【ごみに関する問題への関心】



【ごみに関する問題への関心 (年齢別・小学校区別)】

問 13. ごみ・環境問題についての情報・知識の情報源は何ですか。

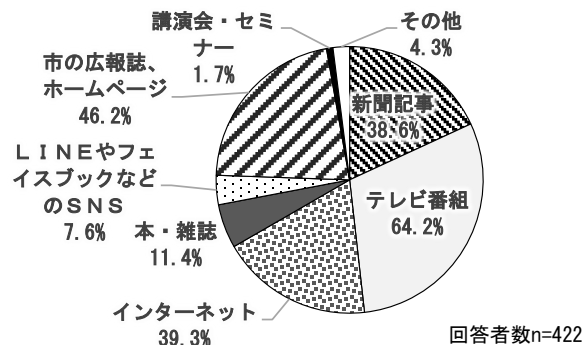
(○はいくつでも)

(2) ごみ・環境問題についての情報・知識の情報源

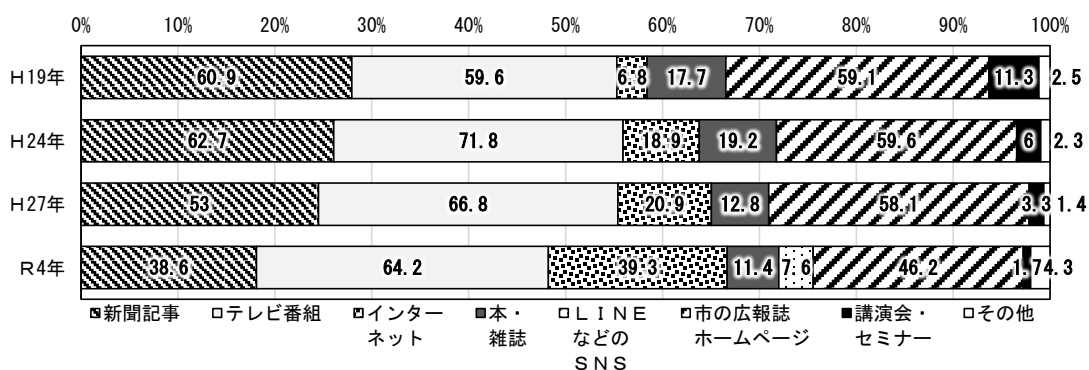
情報源として多くあげられたのは「テレビ番組 (64.2%)」、「市の広報誌、ホームページ (46.2%)」、「インターネット (39.3%)」、「新聞記事 (38.6%)」などであった。

過去の調査と比較すると、情報源に「新聞記事」や「講演会・セミナー」と答えた割合は減少傾向にあり、「インターネット」と答えた割合は増加傾向にある。

年齢別にみると、「10代」、「20代」の若い世代は、「インターネット」を情報源とする人が多く、「市の広報誌、ホームページ」、「新聞記事」を情報源とする人は他の世代より少ない。

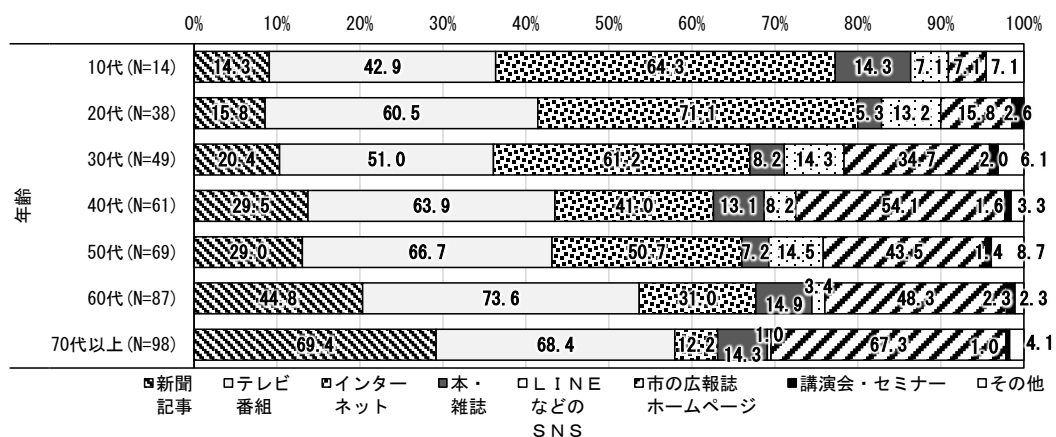


【ごみ・環境問題についての情報・知識の情報源】



【ごみ・環境問題についての情報・知識の情報源の推移 (H19年・H24年・H27年・R4年)】

※「LINEやフェイスブックなどのSNS」は令和4年の調査で新たに追加した。



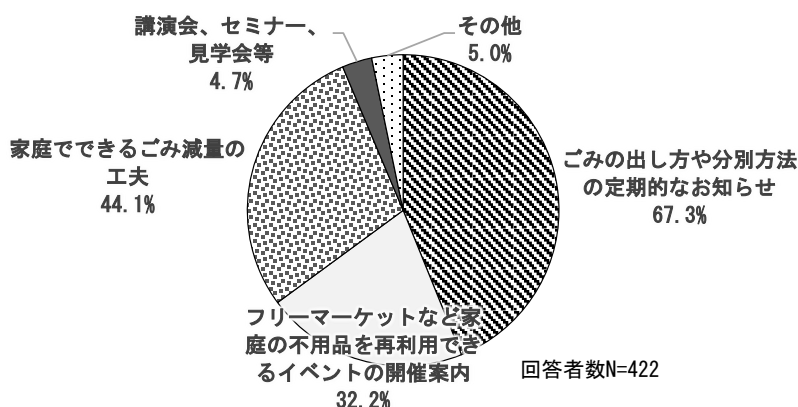
【ごみ・環境問題についての情報・知識の情報源 (年齢別)】

問 14. 市が提供するごみ・環境問題に関する情報について、どのような内容を期待しますか。
(〇はいくつでも)

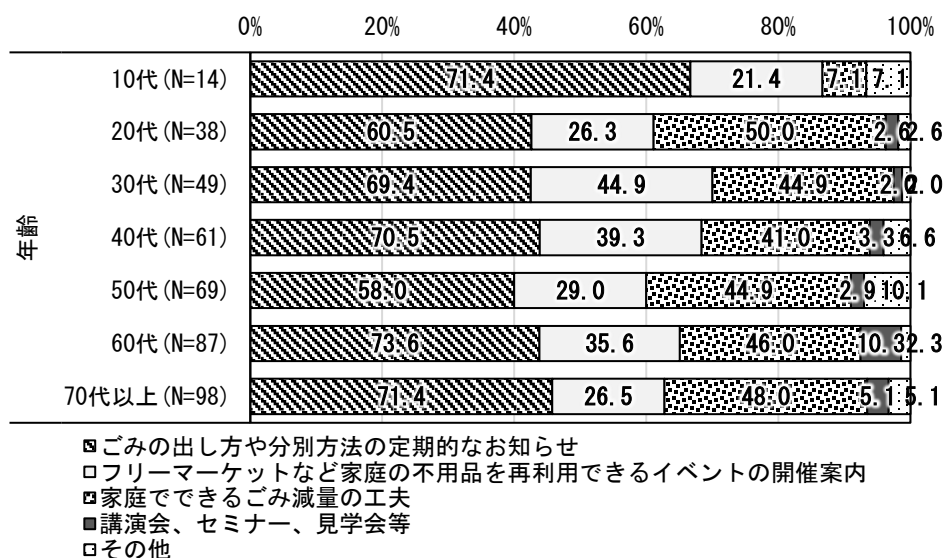
(3) 市が提供するごみ・環境問題に関する情報について期待する内容

市が提供するごみ・環境問題に関する情報で期待する内容として「ごみの出し方や分別方法の定期的なお知らせ (67.3%)」、「家庭でできるごみ減量の工夫 (44.1%)」、「フリーマーケットなど家庭の不用品を再利用できるイベントの開催案内 (32.2%)」が多くあげられた。

年齢別にみると、10代では「ごみの出し方や分別方法の定期的なお知らせ」の割合が他の世代より多く、「家庭でできるごみ減量の工夫」の割合が他の世代より少ない。



【市が提供するごみ・環境問題に関する情報について期待する内容】



【市が提供するごみ・環境問題に関する情報について期待する内容 (年齢別)】

2-8 自由意見

問 15. 市の環境(環境行政も含む)に関してご意見等がありましたらご記入下さい。(自由記入)

意見が多く挙がった項目は「収集・回収方法 (60 件)」についてで、「分別ごみを持っていくのが大変なので対策を考えてほしい (15 件)」「資源ごみを持って行ける場所を増やしてほしい (13 件)」などの意見があった。次いで多かった項目は「ごみ処理に関する行政施策全般 (52 件)」についてで、「エコロの森や地域分別収集などゴミに関する情報をより詳しく市民に広める活動をしてほしい (10 件)」「日々のごみの収集作業には満足し、感謝している (10 件)」などの意見があった。

【自由意見の項目別件数】

項目	件数	主な意見(抜粋・要約) 【回答者：139、意見総数：208】	内訳件数
収集・回収 頻度	11	分別ごみの回収頻度を増やしてほしい。	5
		お盆、お正月も生ゴミを回収してほしい。	3
		エコロの森の分別収集の時間を増やしてほしい。	2
		週2回の可燃ごみ収集、月1回の不燃物収集に感謝。	1
収集・回収 方法	60	分別ゴミを持って行くのが大変なので対策を考えてほしい。	15
		資源ゴミを持っていける場所を増やしてほしい。	13
		不燃物、缶、ペットボトルなどの回収袋を作ってほしい。	7
		剪定枝の回収等を検討してほしい。	4
		地域別分別収集の当番制ではなく他の方法を考えてほしい。	4
		可燃ごみの夜間収集をしてほしい。	4
		ゴミ袋代を安くしてほしい。	3
		可燃ゴミを収集前にガラスや動物に散らかされている。対策を検討してほしい。	2
		ペットボトル、アルミ缶をつぶさないで出すのはゴミ袋がかさばる。	2
		スプレー缶は自分で穴をあけるのがこわいので、市職員などでしてほしい。	1
		ゴミ袋のミニよりも小さい袋を希望。	1
		お盆等の収集休みを収集場所にもっと大きく表示してほしい。	1
		プラゴミを出すときのシールはがしが面倒。	1
その他	2		
分別項目	15	古着・古布の分別収集を再開して欲しい。ハンガー等も分別収集できるようにしてほしい。	7
		可燃ゴミと同じように、不燃ゴミ(缶、ビン、陶器)も回収してほしい。	3
		オムツは嵩張るので、透明な袋(指定袋ではない袋)で回収してほしい。	1
		アルミ缶とスチール缶を収集時に分別する必要がないのであれば、一緒に捨てれるようにしてほしい。	1
		分別ごみのもっと細かな製品の分別の仕方の表(絵)がほしい。	1
		分別が厳しすぎる気がする。少し違うものが入っているだけで、1ヶ月くらい放置されてる事も多々ある。	1
		側溝の掃除のドロ、砂が多くても回収ゴミ袋に入れている。 他に処分する方法がなく、気にしながらやっている。	1
ごみ減量 ・循環の アイデア	28	ゴミを資源として活用することで、市の収入が少しでも増えるような施策を実施してほしい。	5
		ゴミ焼却時に発生する熱の利用を考えてほしい。	3
		常設の分別収集場所の設置、各自治会(隣組)単位への補助金の増額による人員の確保を検討願いたい。	3
		フリーマーケットを開催して欲しい。	2
		ゴミの分別をしたことによる効果や結果を公表して欲しい。	2

項目	件数	主な意見（抜粋・要約） 【回答者：139、意見総数：208】	内訳件数
ごみ減量・循環のアイデア	28	まちがったゴミの出され方をされてたら、シールをはり、何がダメなのかを書けばよいと思う。	2
		「こがんと。」で生ゴミ処理機の助成金について詳しく特集してほしい。	2
		「こがんと。」など市からの紙配布物の電子化。	1
		ごみの分別を細かくすることで、ごみの量が減らせると思う。	1
		リサイクルゴミの収集場所の表記をもう少し分かりやすくしてほしい。	1
		不要になった家具などを、必要な方が自由に引き取っていくスペースがあると嬉しい。	1
		その他	5
ゴミ処理に関する行政政策全般	52	エコロの森や地域分別収集などゴミに関する情報をより詳しく市民に広める活動をしてほしい。	13
		日々のごみの収集作業には満足し、感謝している。	10
		これからもごみの分別に協力したい。	7
		古紙回収倉庫やスーパーの回収等、助かっている。	3
		非組合員が増加することにより起こる今後の課題と対応策の検討をしてほしい。	2
		これからの子供達の為に資源の大切さの教育をしてほしい。	2
		清潔なごみの出し方をなさる方と正反対の方が居る事は念頭に置いておいて頂きたい。	2
		古賀市は近くにエコロ森があるので助かっている。	2
		ゴミ袋が高い。	1
		古賀市はもっとゴミに関して税を割り当てて、転入しやすい市を目指して頂きたい。	1
		家庭でゴミと草木を一緒に焼いている方がいて大変困っている。	1
		道路愛護デーの時に剪定ゴミを回収できないか。	1
		市主催海岸清掃での軍手など配布物即中止（環境活動に反している）。	1
その他	6		
アンケートについて	2	家族3人で話し合っってアンケートに回答した。	1
		ごみやリサイクルに関して興味のある事柄であったので、アンケートを記入しながらいろいろと考えさせられた。	1
その他	39	大雨などの災害に備えて、河川の整備をしてほしい。	8
		道路沿いの草や街路樹の手入れをしてほしい。	7
		不法投棄のゴミやポイ捨てなどが各所でみられるため、対策を考えてもらいたい。	5
		道路、街灯の整備をしてほしい。	3
		公園の整備をしてほしい。	2
		住みやすい市になれば人口増加によるプラスの恩恵があるものと思う。	2
		車道とは別にきちんと自転車用通路を確保してほしい。	1
		個人情報保護に関しては、慎重に取り扱ってほしい。	1
		古賀駅や千鳥駅周辺の駅前広場整備を加速化して欲しい!!	1
		上下水道代金をクレジットカード納付できるようにしてほしい。	1
		家庭でのゴミ焼却や、田、畑で燃やすことで、風向きにより臭い。	1
		千鳥駅の付近、小中学校の周り等に監視カメラの設置を希望する。	1
		家庭用太陽光の設置やECO家電、リフォームの補助制度を作してほしい。	1
		市が開放している自習室は大変ありがたいと思う。軽食がとれる休憩所などもあればなおありがたい。	1
		その他	5